

火災統計



火災統計

火災件数

平成26年中、小牧市で発生した火災件数は77件で、前年と比べ13件の増加となりました。

種別ごとでは、建物火災42件（10件の増）、車両火災10件（1件の増）、林野火災1件（1件の減）、その他火災24件（3件の増）となっています。

また、建物火災42件のうち住宅火災（共同住宅を含む）は、20件で、全体の47.6%となっています。

住宅用火災警報器の奏功事例

平成26年中に小牧市内では、住宅用火災警報器が鳴動したことにより火災に至らなかった事例が1件、火災にはなったものの被害を最小限にとどめることができた事例が3件ありました。

住宅防火対策としては、平成23年6月から全国すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、設置率向上及び維持管理促進のため、一般家庭の防火査察、防火広報など、あらゆる機会を捉え、普及啓発活動を実施しています。

火災原因

出火原因別を見ると、最も多いのが、「こんろ」及び「放火」で、それぞれ9件（11.7%）、続いて「放火の疑い」8件（10.4%）の順になっています。

また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると17件（22.1%）で、前年と比べ2件の増加となりました。

火災による損害及び死者・負傷者

火災による損害額は、92,836千円で、前年と比べ57,194千円の減少となりました。

また、火災による死者は発生しておらず、負傷者は17名と前年に比べ10名の減少となりました。

火災件数及び損害額の推移

(平成17年～26年)

区分 年別	火災件数 (件)	火災件数内訳				損害額 (千円)	死者		負傷者
		建物	林野	車両	その他		48時間	30日	
17年	64	42	1	9(3)	12	113,127	3	0	7
18年	81	43	3	11	24	57,110	1	1	9
19年	63	28	2	9(3)	24	765,228	0	0	10
20年	66	35	2	10	19	57,236	0	0	16
21年	76	39	1	11(1)	25	144,987	2	2	12
22年	88	42	0	15(3)	31	48,929	0	0	17
23年	75	36	1	9(1)	29	299,765	2	0	8
24年	69	38	1	5	25	215,297	3	1	19
25年	64	32	2	9	21	150,030	0	0	27
26年	77	42	1	10(1)	24(1)	92,836	0	0	17

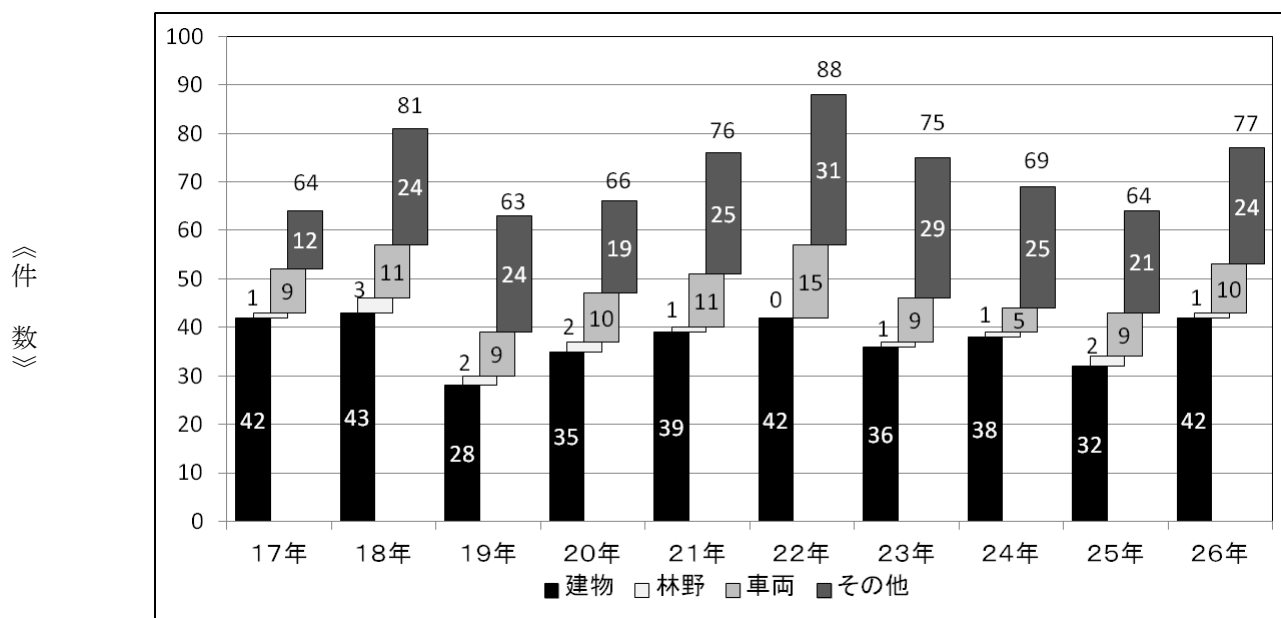
※30日死者とは火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に亡くなった方。

負傷者に、30日死者含む。

()内は、高速道路上で起きた火災であり、内数とする。

火災種別と推移

(平成17年～26年)

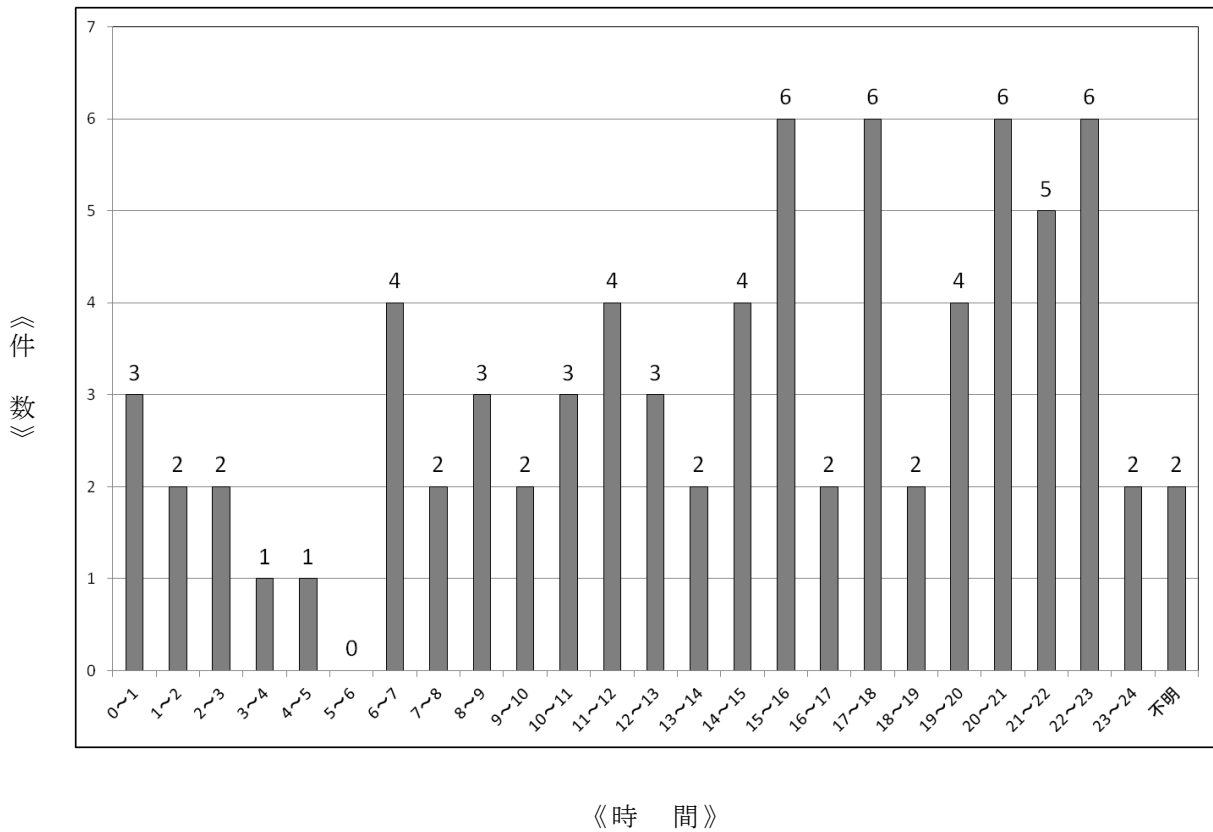


《年 別》

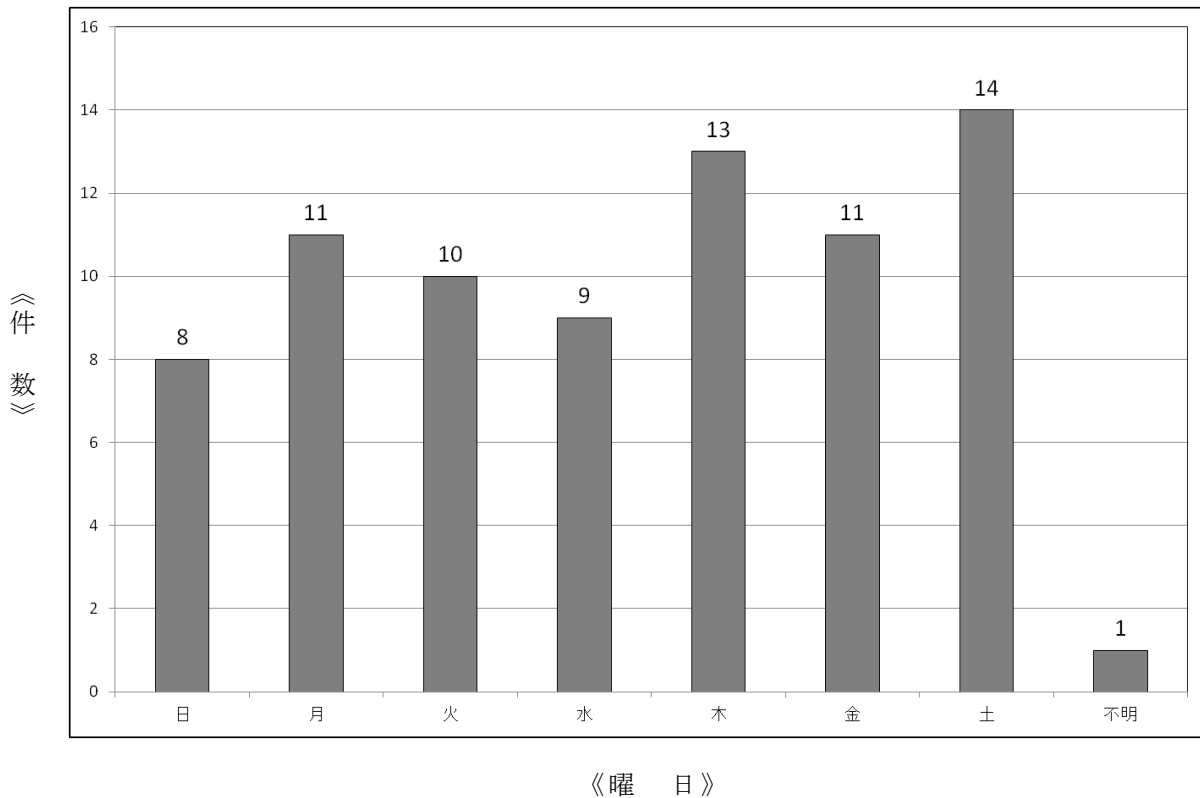
月別火災状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	建物	3	2	2	5	5	5	2		7	6	3	2	42
	林野				1									1
	車両	4		2				1	1		1		1	10
	船舶													
	航空機													
	その他	2	2	1	6	2	3	1	1		2	3	1	24
	計	9	4	5	12	7	8	4	2	7	9	6	4	77
焼損棟数	全焼				1	1	2				1		1	6
	半焼				1								1	2
	部分焼	1	1	1		2	2	1		1	1	1	1	12
	ぼや	2	1	1	4	2	7	1		6	3	2	4	33
	計	3	2	2	6	5	11	2		7	5	3	7	53
焼損面積	建物床面積 (㎡)		7		202	20	303			12	78	1	156	779
	建物表面積 (㎡)	23	13	7	2	1	63	4		2		10	5	130
	林野 (a)				98									98
死者負傷者	死者(48h)													
	死者(30日)													
	負傷者	2	2	1	2	2	3			2	3			17
り災世帯数	全損				2		1						2	5
	半損		1		1									2
	小損	1	1	1	4	5	5	1		2	4	2	1	27
	計	1	2	1	7	5	6	1		2	4	2	3	34
り災人員	1	8	5	16	8	17	1		6	14	2	7	85	
損害額 (単位 千円)	建物	76	909	190	15,111	1,449	26,306	384		1,689	6,034	153	32,302	84,603
	林野													
	車両	4,794		691	80		956		270				534	7,325
	船舶													
	航空機													
	その他 (爆発を含む)	98	13		165	190	110		2	8			322	908
	計	4,968	922	881	15,356	1,639	27,372	384	272	1,697	6,034	475	32,836	92,836

時間別出火件数



曜日別出火件数



火元建物用途別火災状況

建物用途	出火件数	焼損棟数					焼損面積		死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床面積	表面積	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		
							(㎡)	(㎡)								
合計	42	53	6	2	12	33	779	130		16	34	5	2	27	85	86,316
住宅	13	25	4	1	7	13	596	92		9	19	4	1	14	54	69,673
併用住宅																
共同住宅	7	7		1	1	5	94	2		3	14	1	1	12	30	7,245
飲食	1	1			1		12	1								1,069
停車場																
神社・寺院																
工場	10	9			1	8	1	4		2						1,484
倉庫	4	4	1		1	2	11	7								751
事務所	4	4			1	3		23								289
複合用途 (特定)	3	3	1			2	65	1		2	1			1	1	5,805
その他																

損害額は延焼した車両等の損害額（1,713千円）を含む。

覚知方法別出火件数

総数	火災報知 専用電話 (固定電話)	火災報知 専用電話 (携帯電話)	加入電話	巡回中 発見	駆け付け 通報	事後聞知	その他の 通知
77	25	27	5			19	1

出火原因別損害額状況

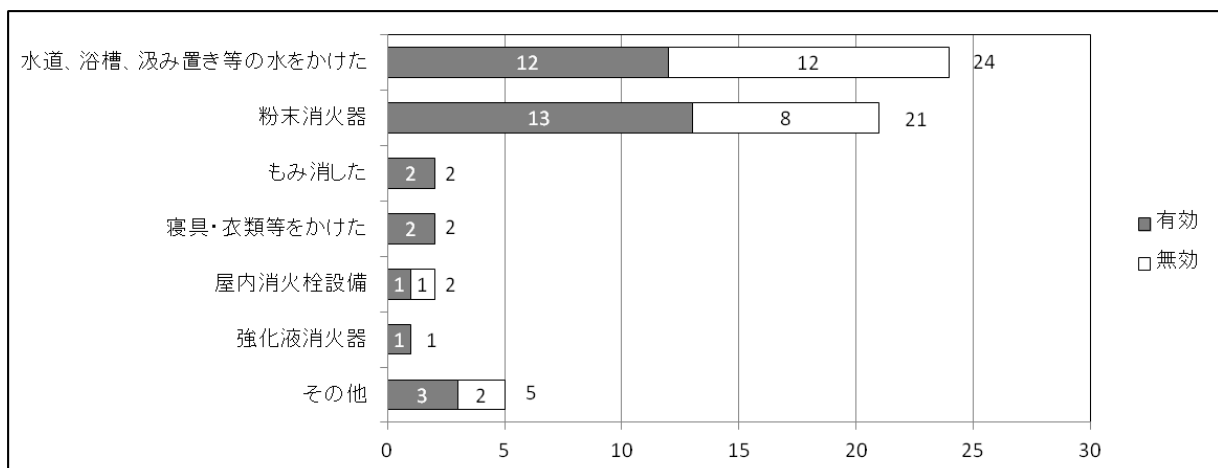
	建物		車両	林野	その他	計	損害額 (千円)
		住宅					
こ ん ろ	9	6				9	1,191
放 火	1		1		7	9	814
放 火 の 疑 い			1		7	8	4,070
た ば こ	6	3			1	7	8,051
た き 火	1				3	4	370
ス ト ー ブ	3	2				3	33,634
排 気 管			3			3	838
焼 却 炉				1	1	2	13
電 気 機 器	2					2	389
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1		1			2	5,791
火 あ そ び					2	2	
電 気 装 置	1					1	383
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1					1	
溶 接 機 ・ 切 断 機			1			1	650
火 入 れ					1	1	
そ の 他	14	6	3		1	18	9,400
不 明 ・ 調 査 中	3	3			1	4	27,242
計	42	20	10	1	24	77	92,836

※住宅に共同住宅を含む。

初期消火の実施状況

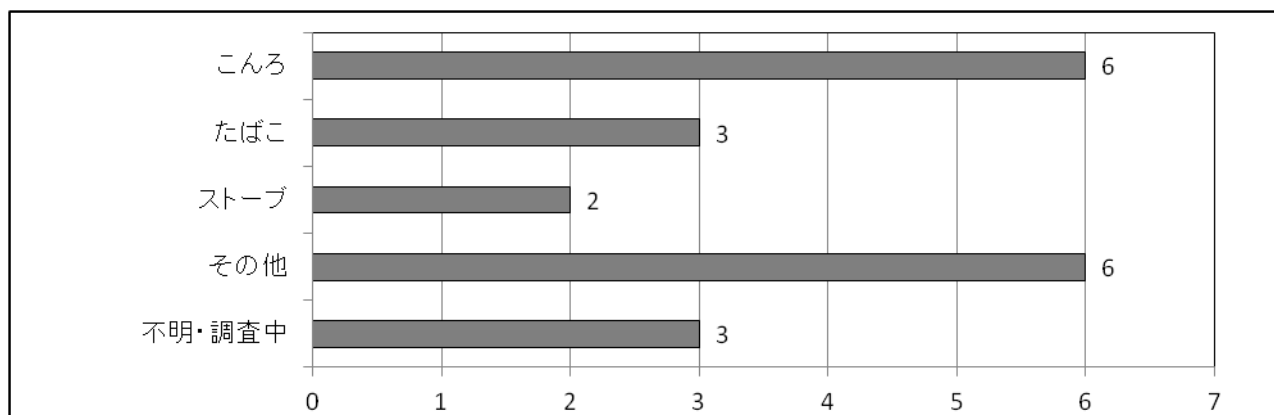
火災件数77件のうち、初期消火が行われた火災は57件ありましたが、そのうち初期消火の対応方法として、最も多かったのが「水道・浴槽・汲置き等の水をかけた」の24件、次いで、「粉末消火器」の21件でした。

粉末消火器につきましては、初期消火に成功している割合が61.9%と、高い数字を示しています。



住宅火災における出火原因

住宅火災（住宅及び共同住宅）20件の出火原因をみると、「こんろ」6件、「たばこ」3件の順になっています。



住宅用火災警報器の設置状況

住宅火災のうち、住宅用火災警報器を設置していなかった住宅は10件で、負傷者は6人となっています。

（損害額単位：千円）

	住宅用火災警報器								自動火災報知設備		
	設置	未設置			設置	未設置		設置	未設置		
		損害額	死者	負傷者		損害額	死者		負傷者	損害額	死者
住宅	4	27,248		3	8	42,189		6			
併用住宅											
共同住宅	1				2	7,217			4	28	3
計	5	27,248		3	10	49,406		6	4	28	3

※住宅火災20件のうち、1件は住宅に付随する小屋から出火したものの。